

2002年9月3日第17回東京大学社会科学研究所シンポジウム  
グローバル時代の「ニュー・エコノミー」 - 日米欧の比較ジェンダー分析 -

**\* \* \* アンケート 結果 \* \* \***

<b>シンポジウム事前予約申し込み者総数</b>	158 (人)
一般登録者	133
補欠登録者	19
事前キャンセル	6

<b>シンポジウム当日出席者総数</b>	148 (人)
一般登録者	112
関係者	17
補欠登録者	10
当日飛び入り参加者	9

<b>アンケート送付者数</b>	127 (人)
回答総数	31
うち白紙回答	2
<b>有効回答率</b>	23 %

(1) あなたご自身についてお答え下さい。

**年齢はおいくつですか？**

A . 10代	B . 20代	C . 30代	D . 40代	E . 50代	F . 60代	G . 70代~
0	5	6	6	11	1	0

**ご職業は何ですか？**

B . 20代

A . 学部生	B . 大学院生	C . 大学教員	D . 研究職	E . パートアルバイト	F . 会社員	G . 公務員	H . 無職	I . その他
0	5	0	0	0	0	0	0	0

C . 30代

A . 学部生	B . 大学院生	C . 大学教員	D . 研究職	E . パートアルバイト	F . 会社員	G . 公務員	H . 無職	I . その他
0	1	2	0	1	2	0	0	0

D. 40代

A. 学部生	B. 大学院生	C. 大学教員	D. 研究職	E. パートアルバイト	F. 会社員	G. 公務員	H. 無職	I. その他
0	2	3	1	0	1	0	0	0

E. 50代

A. 学部生	B. 大学院生	C. 大学教員	D. 研究職	E. パートアルバイト	F. 会社員	G. 公務員	H. 無職	I. その他
0	1	3	0	2	3	0	1( 1)	1( 2)

( 1 ) 放送大学〃生 ( 2 ) 個人事業主

F. 60代

A. 学部生	B. 大学院生	C. 大学教員	D. 研究職	E. パートアルバイト	F. 会社員	G. 公務員	H. 無職	I. その他
0	0	1	0	0	0	0	0	0

(2) 今回のシンポジウムに参加されるまで。

シンポジウムを何でお知りになりましたか？

A. 新聞	B. シンポのチラシ	C. 社研HP	D. 知人から	E. その他
2	2	1	12	12

その他を具体的に・・・

- \* 学会ニュースレター \* 大沢ゼミ \* 研究会メンバーへのお知らせ
- \* 案内のEメール \* メーリングリストのお知らせ \* 社会政策学会HP ( 3 )
- \* JJネットワークからのメール記事 ( 2 ) \* Eメーリングリスト \* 不明 ( 1 )

参加されるにあたっての関心の対象 ( 複数回答していただいて結構です。 )

A. ニューエコノミー	B. グローバル化	C. ジェンダー分析	D. 国際比較	E. パネリスト	F. 討論者	G. その他
10	17	26	12	6	9	0

(3) シンポジウムの内容はいかがでしたか？

全体的に

A. とてもよかった	B. よかった	C. 普通	D. あまり良くなかった	E. 悪かった
4	22	2	1	0

と思われる理由は何ですか？ ( 具体的にお願いします。 )

「 A. とてもよかった 」と思われる理由

- \* 世界的に著名なフェミニスト間での最も新しい問題意識を目の前の議論から知ることが出来た。
- \* 著書で名前を知っている一線の学者の生の講演が聞けたこと。新しい視点が語られたこと。

- \* 報告、コメントとも一部を除いてよく準備されていたので、問題の焦点が比較的是っきりしていた。
- \* 同時通訳のかたがたの、感情までも通訳している！？と思うほどの素早い名訳に、おどろきつつ、感謝しながら先生方の発表をきけたこと。大沢さんの絶妙な司会進行、大変なお仕事と思われるのに、終始穏やかでソフトだったので、安心してきけたこと。

「B. よかった」と思われる理由

- \* 報告の時間が短いためか、主張の要点は強調され理解できるが根拠がわからなかった。（レジメで確認できたが。）
- \* 報告が保守的だったが、コメントが面白かった
- \* 上野千鶴子のプロ意識を垣間見た。
- \* とても有意義な時間が過ごせました。日程の割りにパネリストと討論者の人数が少し多すぎて、全体的に駆け足気味に進んでしまっていたのが残念でした。
- \* 先進国社会におけるジェンダー研究者が何を問題としているのか概観がつかめたので。
- \* テーマに関する知識がより深ければ良かったです。
- \* 報告の水準が高く、討論もだいたいかみ合っていたからでしょう。
- \* パネリストがバラエティに富み、よかった。さらに第三世界の女性も参加していたら、国際比較に厚みが出たのではないか。
- \* せっかくの機会だったので、もう少し海外からの研究者の発表時間をとってほしかった。内容は大変良かった（各スピーカーの発表時間が短すぎたように思える）
- \* 各自の発表、コメントはそれぞれ興味深いものでしたが、質疑応答の時間がもの足りなかったように思います。
- \* ニューエコノミーと女性労働について考える契機となった。また、考えている以上にEUの法制化への評価があるなどいろいろ考えさせられた。
- \* 今回のようなテーマの国際的なシンポに参加する機会があまりありませんでしたので、日米欧の研究者の最先端の研究に少しでも触れることができ、刺激的でした。
- \* 多彩なシンポジスト
- \* 女性が働くという事を改めて考えさせられた。
- \* ニューエコノミーにおける、ジェンダーについて考えるきっかけとなった。
- \* ジェンダーの視点から、日独英米の研究者がニュー・エコノミー、グローバリゼーションについて分析、討議したこと。大沢真理氏の絶妙なコーディネート。
- \* グローバルの意味がいろいろに使われているので、ここのパネリストの皆さんはどのように定義されるか関心があった。また、経済と言うので、もっとオーソドックスな経済をとりあげるのかと半ばあきらめていましたが、案に相違して私の関心事に近いことをとりあげていたから。
- \* ヨーロッパ・アメリカ・アジアの地域的比較が出来る発表でした。
- \* 今回のようなテーマの国際的なシンポに参加する機会があまりありませんでしたので、

日米欧の研究者の最先端の研究に少しでも触れることができ、刺激的でした。

- \* ドイツの話は意外と聞く機会がなかったので、新鮮だったため。
- \* 同じテーマ（グローバル化）でも、接近方法が異なること、焦点の相違がよくわかったこと。

「C. 普通」と思われる理由

- \* 予告にあったジェンダーと社会経済の発展方向の関係について、あまり明確な回答がなかったように思う。もっとも運命論的に方向が決まってしまうのはシンポジウムの意味がないであろうが。
- \* 焦点が、あまり明確ではなかったと思います。

「D. あまり良くなかった」と思われる理由

- \* あまり建設的な議論が行われなかったような気がします。クローズドのディスカッションでどのような話があったのかわかりませんが、聞いているほうにとってはちょっと納得いきませんでした。

各パネリスト・討論者の発表・発言について、どう思われますか？

		A. とてもよかった	B. よかった	C. 普通	D. あまり良くなかった	E. 悪かった	F. その他	回答なし
- 1	シルヴィア・ウォルビー	8	16	3		1		1
- 2	カリン・ゴットシャル	4	17	6	1	1		
- 3	イルゼ・レンツ	5	14	8	1	1		
- 4	ハイディ・ゴットフリート	6	17	4	1			
- 5	ジョアン・アッカー	8	13	4	1		2	
- 6	セシリア・ナン	12	10	5	1		1	1
- 7	足立真理子	5	8	6	7		3	
- 8	上野千鶴子	22	6	1				

<ジョアン・アッカーについての意見>

「A. とてもよかった」と思われる理由

- ・ 貫禄です。

「F. その他」の理由

- ・ 失礼ながら印象に残っていない。
- ・ 普通アッカーにもう少しはなしてもらおうとアメリカの福祉改革の功罪やジェンダーと階級の交差が明確になり、日本の今後を占う材料がでたように思いました。

<セシリア・ナンについての意見>

「A. とてもよかった」と思われる理由

- ・ 率直でよかった。

「F. その他」の理由

- ・ もっとご活躍の方途があったのでは。

< 足立真理子についての意見 >

「D. あまりよくなかった」と思われる理由

- ・ 話がかみあっていないし、何をいっているのか理解できなかった。ディスカッサントがコメントしないのもおかしいと思った。せっかく注目していたのに準備不足なのかな？一人ういている感じです。

「F. その他」の理由

- ・ 失礼ながら印象に残っていない。
- ・ 足立さんだけで、日本のことを理論的にまとめるには、少し荷が重かったと思います。もうすこし、足立さんが、今まで研究してきた部分に合わせて、のべるほうが足立さんのよさが出たと思います。
- ・ 主張点が時間内ではっきりできなかった点がとても残念でした。

< 上野千鶴子についての意見 >

「A. とてもよかった」と思われる理由

- ・ さすがです。

時間配分など、シンポジウムの組み立てはどうでしたか？

A. とてもよかった	B. よかった	C. 普通	D. あまり良くなかった	E. 悪かった	F. その他	回答なし
4	9	12	2	1		1

「B. よかった」と思われる理由

- \* ご報告者とコメンテーターが多く、一人当たりの時間が短かった点がとても残念でした。

「C. 普通」と思われる理由

- \* パネルディスカッションをもうすこし長くして欲しかったです。

同時通訳は理解しやすく、役に立ちましたか？

A. はい	B. 普通	C. いいえ
16	10	3

「C. いいえ」と答えた方、その理由は何ですか？

- \* 声が聞き苦しかった。
- \* 直接パネリスト及び討論者の発表を聞いていたが、同時通訳の音がもれていて非常に聞きにくかった。（後部の座席で同時通訳のブースに近かったせいかもしれませんが）
- \* 後半にかかるところから、英語の方が分かりやすいくらいに訳があらくなったため。

その他、今回のシンポジウムの 内容 に意見がございましたらお書き下さい。

- \* 私の勉強不足とは思いますが、プロジェクトについて、キーワードは分かるが実質的に何につ

いて国際比較しているのか分からず、議論の共通の基盤というようなものがみえなかった。(20代・大学院生)

- \* 討論でフロアからもっと意見がでるべきだと思う。(50代・会社員)
- \* 17時までしか時間がなく、途中退出は難しいと思い、休憩時間に帰りましたので、それまでの内容についての意見を書かせていただきます。シルヴィア・ウォルビーさんが、ジェンダーレジームの変容が全体の変化を生み出す力になると述べておられましたが、その具体的な道筋についての考え方を聞きたかったと思います。現在、日本で男女共同参画センターで仕事をしている私に何ができるのか、「全ての女性の解放」が遠すぎて、私たちの目指すところが見えませんでした。(50代・会社員)
- \* シングルマザーの雇用状況の悪化と社会保障の悪化のダブルパンチについて話そうかなと思いつながらタイミングを失いました。ちょっと申し訳ない気持ちです。ニューエコノミーについての定義が確定していないのかもしれないが、イメージとして少し分かってきた。(40代・会社員)
- \* ニューエコノミーのとらえ方が難しく、それぞれ考え方に違いがあったので定義づけがあるとよかったです。(50代・パート)
- \* 枠組みにかかわることなのでないものねだりということになるが、せっかくマレーシアから研究者がきているのに、先進国 途上国関係からみたジェンダー分析がなかったのは残念であった。東南アジア諸国はいままで日系に限らず外資を受け入れ、近代化と経済発展を図ってきた。そうした工業団地ではたくさんの女性労働者が働いてきた。彼女らの貢献と位置づけ如何？また、大沢真理先生のお話で、科研費の状況を聞くことができ、貴重な舞台裏の進行状況を伺うことができ有益であったが、三和総研の報告書については私は見ていないが、どのようなモデルで推計しているのだろうか。パートなどの賃金を上げる原資はどこから調達するのか、原資の分配率を典型・非典型間で最適化すると、マーケットが活性化するとしても。私も勉強していきたいが、大沢先生の物言いは少し楽天的すぎたように受け止めた。(40代・研究職)
- \* ニューエコノミーの概念が、今までの女性労働との関連上どう位置付けられるのかもっと具体的にうかがいたかった。(40代・大学院生)
- \* やはり、日本について報告が一つあってもよかったのではないのでしょうか。(60代・大学教員)
- \* 日本以外でのジェンダー分析のことがわかった。なにより、最先端のホットな研究をきいている、という感動があった。(50代・パート)
- \* 時間的な制約はあるでしょうが、アジアとの比較も加えていただけたら、より広い国際比較ができて、シンポジウムがもっとおもしろいものになったのではないかと思います。(40代・大学教員)
- \* せっかくの大きなテーマのシンポジウムですし、有名な方々をお招きできたのですから、せめて半日ではなく、丸一日かけてやってほしかったです。パタパタとこなしただかんで、

盛り上がりに欠けていたように思いました。上野先生のお話を受けた議論も中途半端だったし、もうちょっと時間的に余裕のあるシンポジウムならよかったのと思いました。(20代・大学院生)

- \* テーマ設定が大きすぎると感じた。また、ウオルピィさんの報告は非常に限定的なもので、上野さんやナンさんの批判は最もだったのに、それに対する返答が大人気なかった。全体的に討論の深まりが感じられなかった。上野さんやナンさんのお話しをもっと聞ければと思いました。足立さんも熱があってよかったです。ただかなり発言内容が学問的なので、レジュメがほしいかなと感じました。(20代・大学院生)
- \* 専門用語などはより分かりやすく使えば良かったです。(30代・大学教員)
- \* そもそもテーマが、おおきな問題を扱っていたので、各人の報告の重点が異なっていたので、拡散しがちであったという印象でしたが、しかしこのような企画は大変よいと思いました。ただ、前述したように、グローバル化、ニューエコノミーの先陣はアメリカなので、アメリカをもう少し専門に扱う論者がいてもよかったですかと思えます。アメリカでは、格差・階級とジェンダーとの関係が問題になっているのですから。ハイディ・ゴットフリートに期待しましたが、そのような展開ではありませんでしたので。また、制度的な比較ということも大切ですが、下からの運動論との関連が今後問題になるものと思われま(50代・大学教員)
- \* ちょっとした好奇心で出席しましたが、意外な収穫でした。今日、私が置かれている状況は、先人達のおかげであるとは知っていましたが、今なお、その努力が力強く続けられていることを目の当たりにしたように感じました。約1ヶ月を経過した今疑問に思うのは、「女性が同じように働くことに、何か不都合でもあるのか？何を畏れて、同一処遇にしないのか？」ということです。参考になる図書があったら教えてください。(30代・会社員)
- \* パネラー、討論者が多いことから、各人の発言時間が少なかったため、かなり要約して発言されていた感があり、こちらの思考が追いつかない部分があった。(50代・NPO役員、個人事業主)
- \* フェミニストの視点でニュー・エコノミーをとりあげるとどうなるのか関心をもっていたが、男性エコノミストをコメンテーターに加えるとどうなるのか、見てみたかった。(50代・大学教員)
- \* ご報告にアジア、日本が含まれていなかった点(討論者としては3人ふくまれていた)が、やや疑問。セシリア・ナン氏のコメントで、アメリカ、日本の経済・動・ジェンダー分析にとても興味をもった。上野氏の女・女格差論が今後のジェンダー分析にとって解明されるべき焦点の1つかもしいと感じた。とくに、グローバル化に伴って。(50代・大学教員)

シンポジウム会場（施設の設備等）はいかがでしたか？

A．使いやすく、シンポジウム会場として適していた	B．まあまあ適していた	C．普通だった	D．あまり適していなかった	E．適していない
16	8	2	1	0

と思われる理由は何ですか？具体的にお書き下さい。

「A．使いやすく、シンポジウム会場として適していた」と思われる理由

- \* 落ち着いて話が聞けた。
- \* 不便な点を感じなかった。
- \* 会場の広さもちょうど良く、マイク設備もあり聞き手からも速やかに発言できるようになっていました。パネルをもっと活用できると具体性が出るのではないのでしょうか。
- \* 交通の便が良く広さも適切だった。
- \* 設備も整っており、広さも適当で、私の職場でもこういう会場があるといいと思いました。
- \* 机も椅子もゆとりがあったので落ち着いてきくことができた。
- \* いす、机、オーディオ機器もしっかりしており、これ以上のものは贅沢というべきだろう。ただプレゼンテーションの画面が小さいということはある。自分の大学講義の経験でもそうだから仕方がないか。また、人数の関係で良い席と良くない席とがしつらえられたのは残念だったが、無料であり勝手気ままなお客さんには最大の対応をしていると思う。
- \* 落ち着いた雰囲気だった。音声もはっきり聞こえた。
- \* あのように長い時間リラックスして聞くことに集中できたこと。おそらく椅子が体にとっても合っていたのだと思う。
- \* 机を含めて一人分のスペースがたっぷりしていたので。
- \* 空調や照明、音響などは最高だと思いました。
- \* 椅子の座りごこちが良かったし、空調もちょうどよく快適でした。
- \* 設備が良く快適。

「B．まあまあ適していた」と思われる理由

- \* 人数にたいしては会場が狭く感じたため。
- \* の設問とも重複するが（ の回答 直接パネリスト及び討論者の発表を聞いていたが、同時通訳の音ももれていて非常に聞きにくかった。後部の座席で同時通訳のブースに近かったせいかもしれませんが）音響設備があまりよくなかったと思う。
- \* 前が見にくい。
- \* 清潔で、規模もちょうど良かったと思います。ただ、水質検査（？）のため館内に設置されていた水飲み場が使用禁止になっていたのが、暑かった日だけに厳しかったです。
- \* 特に問題なし。通常あんなもんでしょう。

「C．普通だった」と思われる理由

（2名とも理由については記入なし。）

「D．あまり適していなかった」と思われる理由



- \* パネルディスカッションでは、やはり、全員の顔が見えるとやりとりが盛り上がり、マイクの前まで出ていくこともなくなると思います。（時間がムダでした。）

次にシンポジウムが開催されるとしたら、どんなトピックを扱ってほしいですか？

- \* 日本の高学歴女性たちの職業と育児の現実
- \* 労働分析におけるジェンダー
- \* 今回のシンポジウムでEUの台頭が論じられていたのでその点について。ジェンダーについても、さらに話を聞きたいと思います。
- \* グローバル時代の経済の概念～アンペイドワークとペイドワーク～
- \* ワークシェアリングと女性。女性にとって機会均等な社会を作るためにはどのような変革のシステムが望ましいのか。
- \* 討論の段階でも、階級分析の必要性が項目としてあがっていたと思う。にも記したが、先進国 途上国関係からみたジェンダー分析と階級分析との理論的な関係とその実証分析を提示することが必要である。
- \* 基本的過ぎるかも知れませんが、グローバル化の中で、各国における gender equality がどの程度進んでいるのか、その測定方法、諸国間の文化的法的背景の差異をどうとらえるのかも知りたかったです。特に、データの扱い方、測定方法、比較の方法など、ジェンダー統計の問題が気になりました。
- \* 特にいますぐは、思いつかないが、globalな視点からの講演を聞きたいと思う。
- \* ジェンダー分析
- \* グローバリゼーションを受けて、今後ジェンダー研究はどうなっていく(べき)か、そこをところをもっとつっこんだ議論が欲しいです。搾取する先進国と搾取される途上国という構図はもちろん重要ですが、そこで止まっていたはどうにもならないです。取する先進国と搾取される途上国という構図はもちろん重要ですが、そこで止まっていたはどうにもならないです。
- \* 「女性のコミュニケーション、男性のコミュニケーション～ジェンダーギャップと 21 世紀の世界」のようなもの。
- \* 社会保障や社会政策の現代的問題に関すること
- \* 先進国だけでなく、途上国でのジェンダー問題などもとりあげてほしい。
- \* 暴走するマネーとオルタナティブ
- \* 「環境問題と健康」「ドメスティック・バイオレンス」「女性と医療(健康)」「高齢者在宅介護」等。
- \* 政治経済学、政策と制度に関するトピック
- \* 福祉国家のゆくえ - ジェンダー分析を踏まえた国際比較 -
- \* 日本のジェンダー問題の現状やその対策
- \* グローバリゼーションとジェンダーという背景を意識した、個別の問題からの斬り込み。

- \* 少子化対策プラスワン（政府 9 月 2 0 日発表）のジェンダー分析。
- \* 労働力の国際移動とジェンダー、グローバル時代における“雇用中心型貧困”・不平等の拡大、“児童の貧困再発見”など。

ご協力ありがとうございました。